

令和5年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策 体系	分 野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施 策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト		
主 管 課		都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏
			評価日	令和6年6月1日
関 連 課		危機管理防災課、都市計画課		
目 標		広域交通、市内交通の円滑化や災害時の安全性の確保を目指し、幹線道路や身近な生活道路の整備を計画的に進めます。		
施策目標の実現 に向けた取組		(１) 道路交通体系の充実 ○安全で快適な道路環境の確保に向け、広域幹線道路の整備については国や県、埼玉県警察、関係市町に積極的に働きかけます。また、市内幹線道路を計画的に整備します。 ○生活道路については、日常生活の利便性や安全性の向上を図るため、道路改良を進めるとともに、緊急車両の活動に支障がなく、災害時に迅速に避難できるよう計画的に整備します。		

2. 施策指標と達成状況 ※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	幹線道路整備延長					
		説明	市内における幹線道路の延長、安全で快適な道路整備を行う指標					
		単位	m					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	13,972	13,972	14,112	14,312	14,512	14,530
		実績値	13,880	13,880	13,925	13,925	14,060	14,060
	指標2	指標名	狭あい道路対策延長					
		説明	市内の狭あい道路の対策延長、日常生活の利便性・安全性の向上を図る指標					
		単位	m					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	2,132	2,167	2,192	2,254	2,271	2,288
		実績値	2,048	2,048	2,218	2,218	2,218	2,218
	指標3	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標4	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標5	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	475, 294	510, 187	1, 415, 805	381, 853	377, 724	359, 883
	人件費	119, 024	118, 525	105, 134	97, 848	93, 944	108, 845
収入	特定財源	188, 094	115, 160	1, 193, 817	107, 684	158, 865	108, 573
	一般財源	406, 224	513, 552	327, 122	372, 017	312, 803	360, 155

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	幹線道路整備事業	安全で快適な幹線道路を整備する事業として、幹線道路用地を取得し、道路整備を行う。	幹線5号線に隣接する地権者から事業に対するヒアリングを実施した結果、事業協力への前向きな意見を得ることができたため、今後の補償調査業務等の計画策定ができることとなった。	道路橋りょう新設改良事業
取組②	狭あい道路対策事業	ふじみ野市道の狭あい対策事業として、歩道整備や待避場所の整備を行う。	市道E-177号線に隣接する地権者と用地交渉を行い2件の用地を取得した。市道F-55号線に隣接する地権者と用地交渉を行い2件の地権者と令和6年度土地売買契約に向けた合意形成を図ることができた。	道路橋りょう新設改良事業
取組③				
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	市道E-177号線の歩道整備については、地権者との交渉の結果、2件の道路用地を取得することができた。また、このほかの対象地権者についても、土地売買契約に向けた協力が得らるよう粘り強く用地交渉を行っている。 市道F-55号線（通称 八軒家交差点）の拡幅整備については、埼玉県が施行する県道さいたまふじみ野所沢線（56号線）の拡幅整備事業に合わせ、埼玉県（川越県土整備事務所）、三芳町と連携して、事業のスケジュールを調整を行っているほか、令和6年度からの土地売買契約に向けて地権者との用地交渉を進めている。
おおむね順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路等管理事務	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 01土木総務費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	宮崎 光隆
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法第32条、同法第28条、同法第16条		
事務事業の内容	事務事業の 目的	市道に工作物、物件などを設ける者に対し、指導、許可、指示を行い、占用物件を適正に管理する。 市で管理している道路線について、道路法第28条に基づき、道路台帳を整備し保管する。 土地分筆登記等に伴う官民境界の確定、道路台帳に基づく、境界証明書を発行する。		
	事務事業の 経緯	道路法第32条の規定に基づき、道路占用許可申請の事務手続きを行っている。また、同法第28条の規定に基づき、道路台帳を整備する。平成26年から5ヵ年かけ道路台帳統合業務を実施し、道路台帳のシステム化を図った。このほか、寄附採納等を受けた場合には台帳修正を行っている。また、土地分筆登記等に必要官民境界の確定事務を行っている。		
	事務事業の 概要	道路法第32条の規定に基づき、道路管理者として道路を占用しようとする者に対し、必要な許可条件を付して許可を与え、占用者から占用料を徴収している。 道路法第28条に基づき、道路管理者は、市で管理する道路線について、道路台帳を整備し保管する。 土地分筆登記に伴う官民境界の確定のほか、道路台帳に基づく、境界証明書を発行する。 道路広域行政に関する事務のほか、ボランティア団体の活動支援を行っている。		
	令和5年度の 主な取組	道路占用者会議を书面開催により実施して、工事実施時期の調整を図った。また、占用工事による影響範囲を含め本復旧の指示を行い、必要に応じて占用者と立会い、工事に関する苦情の抑制を図った。 道路用地の帰属、寄付のほか、官民境界の確定により、道路法第28条の規定に基づき、道路台帳の整備、補正を行った。道路台帳に基づき、普通交付税などの基礎数値資料及び道路施設現況調査資料の作成を行った。 土地分筆登記、土地売買などに伴う官民境界の確定、道路台帳に基づく境界証明書の発行を行った。 道路広域行政の各協議会の活動への協力のほか、研修会等に参加し職員の知識向上を図った。 官民が連携し、道路美化のほか安全安心に利用できるように団体活動への支援を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	4.70	4.70	4.70
		人件費	37,436	37,239	37,239
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	1.10	1.72	2.00
		人件費	0	7,047	8,634
人件費計			37,436	44,286	45,873
事業費	報酬※		3,457	5,378	6,952
	賃金※		0	0	0
	需用費		747	745	972
	委託料		12,192	11,406	17,126
	使用料及び賃借料		1,720	1,716	1,653
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		124	114	121
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		2,016	2,665	5,613
支出合計			57,692	59,263	69,676
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	20,240	21,987	32,379
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	16	37	58
	一般財源		37,436	37,239	37,239
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			328	326	317

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	道路占用申請件数		
	説明	占用物の老朽化により、更新が必要となり、申請が増える予定。		
成果	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	550	550	550
	実績値	468	379	
指標 2	指標名	市道の実延長		
	説明	開発道路及び私道採納により台帳整備していく必要がある。		
成果	単位	k m		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	301	302	303
	実績値	286	286	
指標 3	指標名	境界証明件数		
	説明	土地分筆登記、土地の売買に必要な証明となる。		
成果	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	150	155	155
	実績値	145	133	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	○道路法の規定に基づき、道路管理者として道路を占用しようとする占有者に対し、必要な許可条件を付して、許可を与え、占用料の徴収している。毎年度、当初に、各占有者から年間工事予定箇所を提出させ、工事箇所が重複する箇所については、工事時期を調整させるための道路占有者会議を開催しているが、令和5年度も令和4年度と同様に新型コロナウイルス感染防止対策として、書面開催により実施した。 ○占用工事の本復旧時には、必要に応じ占有者と立会いをし、占用工事による影響範囲までの本復旧を指示し、苦情の抑制を図っている。 「令和5年度占有者会議」 令和5年5月中旬に資料送付 ○民間開発による道路の帰属、私道寄附採納、用地買収によって、市の所有となった道路用地について道路法第28条の規定に基づき、道路台帳の整備、修正を行っている。道路台帳を整備することにより、官民境界を確認するための資料として活用することができる。また、地方交付税、道路施設現況調査等の基礎資料ともなる。 「令和5年度道路台帳補正委託業務」 新規 6路線 0.28k m ○土地分筆登記、土地売買に伴って、官民境界の確定が必要なことから、境界確認業務、境界証明書の発行を行っている。 ○広域行政の協議会の研修会等に参加することにより、職員の知識の向上を図り、他の行政担当者との繋がりを持つことで、身近な課題等の解決に向けて相談が容易となり、事務の効率化も図れる。 「協議会」 令和5年度末 5協議会 ○官民が連携して、快適で美しい道路環境づくりを推進し、市が管理する道路をボランティアで清掃活動、美化活動を行っていただいている。市では、認定団体に対して、ゴミ袋・軍手等を支給し、団体が収集したゴミ等を回収している。 「道路サポーターズ団体」 令和5年度末 9団体
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路法の規定に基づき、道路管理者として、適正に市道を管理することが必要な事務であるため
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路舗装補修事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト		
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	宮崎 光隆
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法、道路構造令		
事務事業の内容	事務事業の 目的	市民等が安全で安心して道路を通行することができるよう、道路・水路・橋梁等の補修を計画的に行うことにより快適な道路網を築く。		
	事務事業の 経緯	道路法により市が管理する道路については、年3回の一斉点検、道守からの情報、議会及び市民からの要望に基づき、損傷箇所や危険箇所を把握し、損傷及び老朽化の著しい道路・水路等の修繕・補修工事を計画的に実施する。また 市が管理する橋梁については、計画的に修繕を実施している。		
	事務事業の 概要	破損及び老朽化の著しい道路・水路・橋梁等の修繕・補修工事を実施する。バリアフリー対策として、街路樹の根による歩道舗装隆起部分の補修を実施する。		
	令和5年度の 主な取組	道路の老朽化に伴うクラックによる振動被害や歩行者の躓きを防止し、沿線住民の快適な生活環境の保全及び道路網の安全を確保した。歩道部の街路樹の根による段差を解消して、歩行者等の安全な通行を確保した。舗装の個別修繕計画に基づき舗装修繕を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人 件 費	正規職員	従事人数(人)	1.70	1.90	1.90
		人件費	13,541	15,054	15,054
	再任用職員	従事人数(人)	0.40	0.50	0.50
		人件費	2,109	2,595	2,595
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			15,650	17,649	17,649
事 業 費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		38,908	49,844	53,715
	委託料		15,144	990	14,300
	使用料及び賃借料		1,746	1,885	1,965
	工事請負費		154,219	124,143	158,137
	負担金、補助及び交付金		0	0	1,164
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		9	14	30
支出合計			225,676	194,525	246,960
財 源 内 訳	特定財源	国庫支出金	30,807	6,000	22,000
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	46,872	46,782	35,818
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	49,200	26,200	58,400
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		98,797	115,543	130,742
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			866	1,012	1,114

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	修繕件数		
	説明	計画的に老朽化した道路を修繕することで、緊急的な道路等の修繕箇所数を減らし市民の安全を確保する。		
活動	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	50	50	50
	実績値	57	81	
指標 2	指標名	道路舗装修繕面積		
	説明	市が管理する道路舗装修繕面積実績を毎年把握する。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため在宅勤務する方等が増えたことなどから苦情要望は令和4年度と同程度に推移しており、緊急修繕で対応した。また、路線的な舗装修繕については、傷んでいる路線を計画的に補修した。		
活動	単位	m ²		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	6,000	6,000	6,000
	実績値	8,347	9,334	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	●道路舗装等修繕 東部地域30件 西部地域51件 緊急修繕0件
	●使用料及び賃借料 土木積算システム借上げ料（部内システム使用人数34人） 概要 積算システムを使用することにより、設計業務の効率化を図る。賃借料1,884,960円 ●工事請負費 市道改修工事等 概要 道路の老朽化に伴う舗装のクラックによる振動被害や歩行者の躓きを防止し、沿線住民の快適な生活環境の保全及び道路網の安全を図るため、道路改修、修繕を実施する。 市道C-258号線舗装修繕工事外6路線・道路舗装修繕工事（単価契約76件 緊急修繕4件） 工事内容 道路舗装修繕工事、部分的な舗装修繕、道路施設等の修繕 工事請負額122,136,531円 工事内訳は、内部資料参照 バリアフリー関係 市道幹線9号線バリアフリー対策工事 2,006,400円 概要 街路樹柵を撤去し、歩道として整備することにより歩行者の安全な通行を確保する。 隆起修繕箇所 7箇所

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路は、市民生活に欠かせないものであることから、適切な維持管理を行っていく必要がある。小規模な補修は単価契約や職員で早期に実施し、大規模な修繕については、計画的に道路舗装修繕工事を実施することで、市民の安全・安心の確保ができ、舗装の長寿命化を図るためにも必要な事業であるため。また、橋梁についても市民生活に欠かせないものであることから、橋梁長寿命化修繕計画に基づき適正な管理を行っていく必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路街路樹緑地帯管理事業	前年度の方向性	
			継続	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	宮崎 光隆
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法		
事務事業の内容	事務事業の目的	歩道等に植えられている街路樹を計画的に適正管理することにより、良好なまち並景観と快適な道路環境を保全する。		
	事務事業の経緯	都市計画道路等の築造、土地区画整理事業により造られた道路の歩道等には、潤いとまち並景観の向上を図るため、各所に渡って街路樹が植えられている。街路樹は毎年枝が成長するため、枝を整枝することで良好なまち並景観の保全を図る。		
	事務事業の概要	市が管理に係る道路に植えられている街路樹の管理を継続して行う。さらに、植えられてから経年経過した老木の樹木診断を行い、適正管理することで、市民の安心・安全の確保を図る。		
	令和5年度の主な取組	歩道等に植えられている街路樹の剪定及び老木の樹木診断を実施して、必要に応じては伐採を行い、良好な景観と快適な道路環境を保全した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人 件 費	正規職員	従事人数(人)	1.70	1.90	1.90
		人件費	13,541	15,054	15,054
	再任用職員	従事人数(人)	0.40	0.50	0.50
		人件費	2,109	2,595	2,595
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			15,650	17,649	17,649
事 業 費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		0	0	0
	委託料		41,488	38,511	47,374
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		0	0	0
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		72	22	134
支出合計			57,210	56,182	65,157
財 源 内 訳	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		57,210	56,182	65,157
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			501	492	555

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	街路樹剪定業務委託		
	説明	市が管理する道路等に存する街路樹を適正に管理し、毎年剪定、伐採本数の実績を把握することで計画的に実施する。		
活動	単位	本		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	600	600	600
	実績値	621	413	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	道路街路樹緑地帯管理事業は、市が管理する道路・歩道等に存する街路樹及び緑地帯を適正に管理する事業である。 街路樹については、街路樹種ごとの剪定時期及び剪定の限度を把握し、樹形を維持する事を軸に計画的に剪定を実施した。また、緑地帯については、低木の剪定、草取り等を実施し、良好な景観と快適な道路環境を整えた。 近年は、街路樹の老木の進行が課題となっており、枯損による倒木の恐れを未然に防止するため、樹木医による樹木診断を行い、枯損木の伐採を実施し、道路を安全・安心に利用できるようにした、また、台風、強風、降雪による倒木についても道路交通の妨げにならないよう早急に対処した。 令和5年度は、ムクドリ対策による高木剪定が少なかったため高木剪定が388本、枯損木、交通支障に伴う伐採が19本、伐根を6本の実施となったが、夏季の異常な暑さや降雨不足による枯木や老朽木の幹割れなどにより、樹木（外観）診断を324本実施した。
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路の景観を保ちつつ、成長した枝葉が起因する信号機や道路標識の見通しの確保、害虫駆除、落葉対策等を講じていく必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路等営繕保守事業	前年度の方向性	
			継続	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	宮崎 光隆
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法、ふじみ野市法定外公共物管理条例		
事務事業の内容	事務事業の 目的	生活道路の維持、補修また、水路敷等の維持管理を行い市民の安心・安全を確保する。		
	事務事業の 経緯	市道の管理者として、軽微な道路施設の補修や応急修理を行い生活環境の維持及び安全を確保している。		
	事務事業の 概要	市道、水路敷等の維持、補修を行う。また、各課からの業務依頼を受けて公共施設の維持補修を行う。		
	令和5年度の 主な取組	台風前の道路側溝等の清掃、台風時の土嚢設置、台風後の路面清掃、路面凍結対策、市内の道路の簡易的な補修のほか、水路敷等の草刈りを実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.50	1.70	1.70
		人件費	11,948	13,470	13,470
	再任用職員	従事人数(人)	0.40	0.60	0.60
		人件費	2,109	3,114	3,114
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			14,057	16,584	16,584
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		2,187	2,656	4,058
	委託料		31,035	42,015	46,263
	使用料及び賃借料		8,051	10,768	10,819
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		651	660	715
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		1,935	1,871	2,373
支出合計			57,916	74,554	80,812
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		57,916	74,554	80,812
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			507	653	689

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	苦情対応件数		
	説明	修繕等の対応の必要があるため		
活動	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	500	500	500
	実績値	1,088	1,158	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	道路等営繕保守事業は、市内約300kmの市道や水路の管理を実施しているものである。管理は、職員による簡易な補修及び路面清掃や側溝清掃、道路用地に係る除草等の維持管理を実施するものである。台風の上陸が予想される前に側溝清掃を行い、台風後にも路面及び側溝清掃を実施した。また、冬季における路面凍結対策、近年では、道路の植樹マスのほか水路敷などに生える草野生育が早くなっていることから、状況により除草の回数を増やし対処したものである。 市道の管理者として、軽微な道路施設の補修や応急修理を行い生活環境の維持のほか、安全安心な道路を確保した。また、職員で対応できない市民の苦情要望については、迅速に対応できるよう修繕契約業者との連携を図ったものである。 ●令和5年度営繕保守委託の実績 道路等営繕保守（東部地区） 件数32件 道路等営繕保守（西部地区） 件数31件 ●道路清掃等で発生した土砂などの廃棄物を処分
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市内全域の道路の修繕営繕を迅速に処理する必要があるため、複数の業者と単価契約を締結することにより、効率的に業務を進める必要があるため。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路橋りょう新設改良事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 02道路新設改良費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	宮崎 光隆
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法、道路構造令		
事務 事業 の 内 容	事務事業の 目的	市民等が安全で安心して道路を通行することができるよう、道路の新設・拡幅・歩道の整備、側溝の整備を計画的に行う。また、渋滞解消のための交差点改良も計画的に実施する。		
	事務事業の 経緯	道路は国の産業基盤の骨格を有するもので、道路新設・拡幅改良、歩道整備及び側溝未整備路線の整備を計画的に行うことで、交通の利便性を図るとともに市民生活の向上に資する。		
	事務事業の 概要	ふじみ野市将来構想、3か年実施計画、都市計画マスタープランに基づき道路整備計画を作成し、計画的に道路改良工事等を行う。		
	令和5年度の 主な取組	安全安心で快適な住環境を充実させるため、市道E-177号線の物件調査業務及び土地売買契約並びに道路用地を取得した。 市道F-55号線（通称八軒家交差点）の交差点改良事業を川越県土整備事務所、三芳町と連携し事業の進捗を図った。また、市道F-90号線及び市道H-9号線の道路用地を取得したほか、市道H-40号線の道路側溝整備及び道路舗装工事を実施した。		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人 件 費	正規職員	従事人数(人)	1.40	1.60	1.60
		人件費	11,151	12,677	12,677
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		11,151	12,677	12,677
事 業 費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		75	1	81
	委託料		2,741	4,838	11,200
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		26,870	12,960	13,122
	負担金、補助及び交付金		0	13,196	7,720
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		32,339	40,531	96,026
支出合計			73,176	84,203	140,826
財 源 内 訳	特定財源	国庫支出金	6,730	425	1,000
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	1,742	79,279
		地方債	5,000	5,400	300
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		61,446	76,636	60,247
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			538	671	513

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	幹線道路整備延長		
	説明	幹線道路整備延長の実績を毎年、把握する。		
活動	単位	m		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	14, 512	14, 530	14, 230
	実績値	14, 060	14, 060	
指標 2	指標名	狭あい道路対策延長		
	説明	狭あい道路対策延長の実績を毎年、把握する。		
活動	単位	m		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	2, 271	2, 288	2, 274
	実績値	2, 218	2, 218	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	■道路新設改良工事（業務委託・工事請負・用地取得・補償費等） 概要 安全安心で快適な住環境を充実させるため、歩道整備や新規に設置する道路の整備を計画的に実施する。 ●業務手数料 土地鑑定評価業務・時点修正業務・標準家賃等調査業務（市道E-177号線）988, 240円 標準家賃等調査業務（市道F-55号線）40, 040円 ●委託料 表示登記等業務（E-177号線 3件）277, 808円 （市道F-90号線）134, 471円 （市道H-9号線）643, 108円 物件調査等業務（E-177号線 3件）1, 032, 900円 （市道F-55号線）1, 705, 000円 （市道B-167号線）484, 000円 ●工事請負費 道路新設改良工事（市道H-40号線）12, 960, 200円 ●用地取得費（市道E-177号線）724, 812円 （市道F-90号線）644, 490円 （市道H-9号線）290, 248円 ●補償費（市道E-177号線）1, 139, 994円 令和4年度繰越明許 ●委託料 物件調査業務（市道E-177号線）561, 000円 令和3年度事故繰越 ●用地取得費（市道E-177号線）1, 931, 548円 ●補償費（市道E-177号線 2件）34, 592, 788円

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	安全安心で快適な住環境を充実させるため、幹線道路等の計画的な整備、歩行者及び児童生徒が安全安心して利用することができるよう新規に設置する道路や歩道整備を計画的に進める必要がある。
中長期的方向性	
継続	